

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：特定疾患対策費

事業名 難病患者対策指導事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 難病対策係 電話番号：058-272-1111(内3319)

E-mail : c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 22,667 千円 (前年度予算額) 21,675 千円

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	21,675	10,836	0	0	0	0	0	0	10,839
要求額	22,667	11,332	0	0	0	0	0	0	11,335
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

難病患者及びその家族をサポートし、生きがいを持って生活することができる環境を整備するため、難病対策に関する各事業を実施する。

(2) 事業内容

①難病生きがいサポートセンター事業

岐阜県難病団体連絡協議会へ委託し、地域において難病患者やその家族が生きがいを持って生活することができるよう、相談事業などを実施する。

②難病医療ネットワーク推進事業

岐阜大学医学部附属病院を拠点病院として、岐阜県難病医療連絡協議会の事務局を設置し、関係機関が連携協力して難病医療ネットワーク事業を実施する。

③難病医療相談会実施事業

岐阜県難病団体連絡協議会に委託し、難病患者及びその家族に対して、医療相談会を年4回実施する。

④難病患者訪問相談事業

難病医療相談会に参加できない要支援難病患者やその家族が抱える悩みについて、個別の相談指導、助言等を行うため、各保健所の保健師を訪問相談員として派遣する。

⑤難病対策地域協議会

保健所を中心として、関係機関等（地域の医師会・医師、看護・介護・福祉サービス事業者等の関係機関、患者会・家族会等）により構成される難病対策地域協議会を設置、運営し、地域の難病患者支援体制整備に資する。

⑥難病患者在宅療養応援員活動支援事業

主に上記①④で把握した患者の個別ニーズに対応するために、難病生きがいサポートセンターが養成した訪問応援員を派遣する。

⑦難病セミナー事業

上記事業で把握したニーズに対応するために、患者や家族、支援者に対してセミナーを開催したり、交流に機会を設けたりする。

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2、県1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,735	医師等講師に対する報償費
旅費	496	費用弁償、業務旅費
需用費	296	事務消耗品、公用車燃料費
役務費	218	郵送料、電話代
保険料	15	応援員活動に対する保険
委託料	19,837	難病生きがいサポートセンター運営、難病医療相談会等委託
使用料	70	会場使用料
合計	22,667	
決定額の考え方		

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

難病に関する各事業を実施することにより、難病患者及びその家族をサポートし、生きがいを持って生活することができる環境を整備する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

当事業の内容は数値で示すことができないため、指標の設定をすることはできない。

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	難病患者の相談の機会等が確保されることで、地域で生活する難病患者及びその家族が、安心して生活することができ、生活の質の向上に寄与することができた。また、地域支援関係者間の情報共有等により、支援のネットワーク体制構築につなげることができた。
	指標① 目標 : _____ 実績 : _____ 達成率 : _____ %
令和 5 年 度	難病患者の相談の機会等が確保されることで、地域で生活する難病患者及びその家族が、安心して生活することができ、生活の質の向上に寄与することができた。また、地域支援関係者間の情報共有等により、支援のネットワーク体制構築につなげることができた。
	指標① 目標 : _____ 実績 : _____ 達成率 : _____ %
令和 6 年 度	難病患者の相談の機会等が確保されることで、地域で生活する難病患者及びその家族が、安心して生活することができ、生活の質の向上に寄与することができた。また、地域支援関係者間の情報共有等により、支援のネットワーク体制構築につなげることができた。
	指標① 目標 : _____ 実績 : _____ 達成率 : _____ %

2 事業の評価と課題

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	難病患者は年々増加しており、必要とされる支援は多岐に渡るため、ニーズに合わせた様々な施策を行っていく必要があり、本事業の必要性は高い。
-----------	---

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価) 2	行政と患者団体、難病拠点病院の関係機関が協力して事業を実施することで、ニーズに沿ったきめ細かい支援を実施することができている。
-----------	---

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 2	関係団体を委託先として事業を実施することにより、それぞれの団体がノウハウを生かすことができ、効率的な事業実施につながっている。
-----------	---

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

年々対象疾患が拡大、患者のニーズが多様化しており、必要な支援が多岐に渡るため、より一層の連携体制の構築が必要となっている。

難病患者及びその家族が、安心して生きがいを持って生活することができる環境を整備するため、今後も本事業を継続して実施していく。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

難病患者及びその家族が、安心して生きがいを持って生活することができる環境を整備するため、今後も本事業を継続して実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	